

# ぶらりわが街宮沢界限

## (40) シリーズ連載の追記・現状・構想 - I - I -

「防犯ニュースNo. 13(発行日)2010・6・15から2面の企画「ぶらりわが街宮沢界限」は、「安全・安心して住めるわたしの好きな街」宮沢をより好きになっていただくよう紹介し、長期6年「72回」にわたりシリーズ連載により、それなりの反応もありました。ふり返って記載されてなかった、あれ、これの出来事、伝説、奇談などの「追記」・記載後の「現状」・将来に向かっての「構想」などを紹介します。

### ◎現在も続く遺跡発掘調査経塚下遺跡―「④古代遺跡―経塚下遺跡」記載

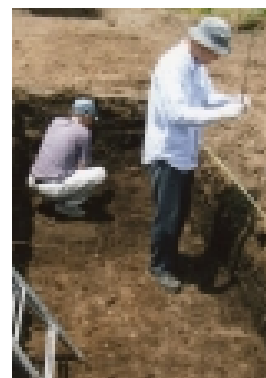
宮沢町の拝島段丘上にある奈良・平安時代の集落遺跡です。これまでの調査で竪穴住居跡10軒、土坑56基、溝5条、ピットなどの遺構(いこう)と、須恵器(すえき)・土師器(はじき)・灰釉陶器(はいゆうとうき)などの遺物が出土しています。また、集落内で鍛冶(かじ)仕事も行われていたと思われ、それに関係ある鞆(ふいご)の羽口(はぐち)や鉄滓(てっさ)なども発見されています。



経塚下遺跡の範囲

鉄製では刀子(とうず)や釘(くぎ)などがあり、珍しいものとして風字硯(ふうじけん)と呼ばれる硯(すすり)も発見されていて、集落内に文字を理解できる人がいたと想定されます。さら

に縄文時代中期の集石土坑(しゅうせどこう)や、超小型の経塚下古墳1基と中世の遺物も僅(わず)かにみられる。経塚下遺跡からは約1万点を超える豊富な遺物が出土しています。



発掘作業現場

最近の経塚下遺跡発掘は、市教育委員会により和田哲(わださとし)氏(現、多摩考古学研究会・昭島市文化財保護審議会会長)のもと、施設の建築申請により平成25年(2013)5月22日、現介護施設イリーゼ昭島(宮沢町2-31)・26年(2014)5月19日、昭島保育園(宮沢町2-28-18)に試掘の確認調査を実施しましたが、両地とも経塚下遺跡範囲東・南端に近いため、焼け石、土器の小破片しか発掘されませんでした。

今までの発掘調査で出土した特に平安時代の遺物は、当時の人々の生活の実態を示すまとまった資料として学術価値が高く、昭和53年(1978)3月に昭島市指定有形文化財「経塚下遺跡出土遺物一括」として、市教育委員会保管で昭島市郷土資料室に展示されています。

**\*昭島市郷土資料室**―市内から出土した土器などの埋蔵(まいそう)文化財や、市民から寄贈された「養蚕具」などの農耕用具や懐かしい生活用品など常設展示しています。所在地―昭島町1-16-11(昭島町分室2階)・入場無料・開室日―水・土・日曜日(年末年始を除く)の正午～4時。ゆっくりとご覧いただき郷土の歴史に触れ、古いにしえのロマンに思いを馳(は)せていただきたくぜひ、来室を。



経塚下遺跡の居住跡等の説明図

なお郷土資料室には、市指定有形文化財「大神古墳出土遺物一括(5点)」―

⑯住宅化で遺跡の確認調査により発見 浄土(じょうど)古墳群・大神古墳」記載も展示されています。

(文・写真)防犯宮沢支部 西山 禎一